

プロジェクト報告書

団体名 カリヨンタヤけ荘

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

ホームの居心地レベルアップ プロジェクト

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

ホーム各所の「居心地向上」を目的として、生活の中で、特に子どもたちの睡眠やくつろぎに直接関連する備品の取替えや新規設置を行いました。寄贈され、開設以来延べ 30 名以上の子どもが代々使用し、痛みやくたびれが気になる寝具・リネン類の一斉交換、これまで畳や座布団に座った形でおこなってきた、居間での団欒やテレビ視聴をより快適に行えるようにするためのソファの設置、その他面談室や児童居室の雑貨の取替えによって空間整備を実施いたしました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

- ①寝具・リネン類の購入:定員児童数と、OGの訪問時宿泊分を考慮に入れ、8組の布団と寝具を購入しました。旧寝具類は希望する卒業生たちに譲る等検討しています。
- ②リビングへソファの購入:居間(和室)に適したローソファを購入しました。6名の子どもが一緒に集うことができ、なおかつ可動する大きさを考慮したソファを選びました。仕事に疲れて帰宅し、椅子に腰をおろしてゆっくりしたい時など、共有スペースでの時間を楽しめるよう工夫しました。
- ③生活雑貨の購入:ソファの新調に合わせて、居間の雰囲気合うようなティッシュボックス、収納ボックス、カフェカーテン等を新調しました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

当ホームでは各居室に折畳み式のパイプベッドがありますが、ベッドを使用するか、しないかは子どもの判断に任せています。そこで布団は、ベッド上に敷くこと、床(フローリング)に直接敷くことのいずれにも対応できるタイプのものを選びました。弾力があるけれど柔らかく、またあたたかいお布団は、子どもたちにたいへん喜ばれています。また、リビングソファについては、布張りの素材を選んだため、日常の汚れをできるだけ抑えて使用していくことができるよう、常時洗濯できるカバーをかけて使用するようになっています。ソファの設置によって、居間の生活動線にも変化が生まれたため、風合いを合わせたデザインの生活雑貨を取り入れました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

日常的に必ず体に触れる家具、寝具を新しくすることができ、施設として気持ちも新たに生活することができています。子どもたちには、自立援助ホームでの限られた時間ですが、暮らしの「居心地のよさ」が心身の健康に及ぼす影響を体験していただき、いずれ当ホームから巣立ち、アパートで生活をし、家庭を築いていくときにここでの生活が参考になればと強く願っています。新しい寝具に換えたことで、子どもたちから寒さや腰痛の訴えが出なくなりました。また、リビングスペースでは、ソファに寝そべて読書をしたり、他の子どもたちとおしゃべりをしたりする様子が、毎日に賑やかに繰り広げられています。ご支援に心から感謝申し上げます。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

平成24年度 真如苑「Shinjo プロジェクト」

法人名	社会福祉法人カリヨン子どもセンター
施設名	自立援助ホーム「カリヨンタやけ荘」
プロジェクトの名称	ホームの居心地レベルアッププロジェクト

①寝具・リネン類



パイプベッドの上に敷いている状態です。(児童居室1室の例)

②ソファ



③生活雑貨



雑誌などをいれるなど、収納ボックスを活用しています。